

府中区防災マップ

計画規模 概ね 30 ~ 100 年に一度程度の大雨

◆区民のみなさんへ
高齢者や体力に不安のある方は、
区長もしくは区長代理へご連絡
ください



指定避難所 公民館、学校などの主に市の公共施設を指定避難所として市が指定した建物です。状況に応じて、開設する指定避難所を決定し、市公式HP、チャンネル〇、防災行政無線などで広報します。

施設名称	所在地	電話番号	備考
健康管理センター	南川4-31	64-6134	※
市歴史資料館	後藤町9-38	53-0064	※
文化会館	大手町7-32	53-9700	※
府立大学小浜キャンパス	幸町1-1	53-3300	※
小浜市総合福祉センター(●福祉避難所)	道頓84-34	56-4033	※
今富小学校	相久里15-2-5	56-0278	※
今富コミュニティセンター	相久里18-18	56-1211	※

●福祉避難所 要配慮者(家族)が生活することを想定して適切で使いやすい環境を整った施設。ほかの指定避難所と同様に開設されるのではなく、災害対策本部が状況を確認して設置します。
※洪水の状況によっては2階以上の高いところへの避難が必要になる場合があります。

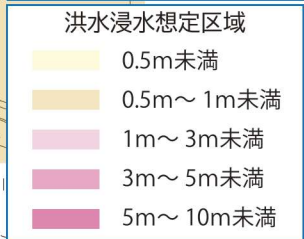
▲自主開設避難所 市の指定避難所以外の市の施設のほか、民間の建物や地区集会所、寺などで近隣住民を随時的に受け入れる建物です。ただし、中には関係者が駐在していないところもあり状況によっては、要入に支障が出る場合があります。

府中区集会所(府中区自主防災対策本部)は、自主開設避難所として利用できます。 ※但し警戒レベル2まで

- 凡例**
- 避難所
 - 避難場所
 - 病院
 - A E D
 - 消防団小屋
 - 防災無線
 - 防災(備蓄)倉庫

- 避難所までの推奨ルート**
- 避難経路①**
避難先：今富コミュニティセンター
距離 1.9km 車で6分
 - 避難経路②**
避難先：文化会館
距離 2km 車で6分
 - 避難経路③**
避難先：県立大学 小浜キャンパス
距離 2.5km 車で4分
 - 避難経路④**
避難先：市総合福祉センター
距離 3.4km 車で8分
- ※車で時間はあくまでも目安時間です

福井県河川カメラ
多田川 市塔橋
リンク先
河川砂防総合情報



大雨時にとるべき行動

情報の種類と行動の目安
小浜市では住民の身を守る必要があると判断した場合、その緊急度に合わせて避難情報を発令します。市から発表される情報に注意してください。災害時に受ける必要なが近くにおられる場合は、お互いに助け合ってください。

警戒レベル	避難行動など	避難情報など	防災気象情報
5	既に災害が発生している状況です。命を守るための最善の行動をとります。	緊急安全確保 災害発生時に発生している状況です。命を守るための最善の行動をとります。	警戒レベル5相当情報 避難発生情報 大雨特別警報 など
4	速やかに避難先へ避難しましょう。公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅がより安全な場所へ避難しましょう。	避難指示 避難先が指定されている避難場所へ避難してください。	警戒レベル4相当情報 避難発生情報 土砂災害警戒情報 など
3	避難に時間を要する人(ご高齢の方、障がいのある方、乳幼児など)とその支援者は避難を1.0~3.0m未満の避難先へ避難しましょう。その他の人は、避難の準備を促します。	高齢者等避難 避難先が指定されている避難場所へ避難してください。	警戒レベル3相当情報 避難発生情報 洪水警報 など
2	避難に備え、ハザードマップなどにより、自主避難行動を確認しましょう。	洪水注意報 大雨注意報など 自主避難が促されます。	警戒レベル2相当情報 早期注意情報 大雨注意報 など
1	災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報 大雨注意報など 自主避難が促されます。	警戒レベル1相当情報 早期注意情報 大雨注意報 など

※各警戒レベルは、警戒レベル1~5の順番で発表されることがあります。状況が変化する場合があります。

●では既に災害が発生しています。また、必ず発令されるものではありません。
●警戒レベル3 や ●警戒レベル4 で、地域の皆さんで声を掛け合って、安全・確実全員避難しましょう。

洪水発生時の行動マニュアル

浸水の深さ/状況

- 10.0m以上
- 5.0~10.0m未満 (2階の屋根以上が浸水)
- 3.0~5.0m未満 (1階部分まで浸水)
- 1.0~3.0m未満
- 0.5~1.0m未満
- 0.3~0.5m未満 (床下浸水)
- 0.0~0.3m未満

余裕をもって安全な避難経路を確保!

必ず避難!

必ず避難!

むやみに移動しない

早期の立退き避難が必要な区域
家屋倒壊等氾濫想定区域
浸水継続時間が長い区域

水平避難
浸水しない安全な場所へ(高台や地下鉄、地下街など)

垂直避難
2階以上または危険のない近くの高い建物へ

屋内安全確保
むやみやたらな移動はかえって危険。建物内のより安全な部屋などへ

立退き避難が必要となる家屋等の表示 (マーク)

- 計画規模の降雨で立退き避難が必要となる家屋
- 最大規模の降雨で立退き避難が必要となる家屋
- 土砂災害の危険時に立退き避難が必要となる家屋

計画規模の降雨とは、概ね30年から100年に1度程度の確率で発生する降雨により河川が氾濫した場合、浸水域および浸水深を表しています。最大規模の降雨とは、概ね1000年に1度程度の降雨を想定しています。

注意
立退き避難が必要な家屋表示がされていない家屋でも、浸水被害エリアの場合は、安全な段階に指定の避難場所へ避難してください。但し、深夜や降雨等により避難することが困難・危険な場合は2階以上の安全な場所で身を守ってください